

# 市民ワークショップ 第2回

～これからの公共施設のあり方を考えよう～

平成26年10月24日(金)10時～12時

プログラム



1. 開会あいさつ	10:00～10:05
2. 前回ワークショップのおさらい	10:05～10:10 (5分)
3. 検討内容について	10:10～10:20 (10分)
4. グループワーク	10:20～11:20 (60分)
5. 休憩	11:20～11:30 (10分)
6. 全体発表・意見交換会	11:30～11:50 (20分)
7. まとめ	11:50～12:00 (10分)
8. 閉会	

# ワークショップの実施にあたって

1. 前回ワークショップのおさらい

2. 検討内容について

# 1. 前回ワークショップのおさらい

## (1) ワークショップの目的



## 本庄市の公共施設のあり方を考える ワークショップ

- ・市の公共施設の現状や問題点はどうか？
- ・本庄市において公共施設をどうしていったらよいか？
- ・公共施設を将来にわたってより良く効率的に活用するためには？



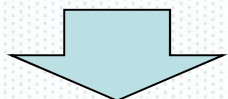
2回のワークショップを開催し、みなさんで考え、みなさんのご意見を参考に公共施設再配置計画を策定していきます。また、多くの方々に市の公共施設の現状についての理解や関心を高めていくことも目指していきます。

# 1. 前回ワークショップのおさらい

## (2) 2回のワークショップの進め方

第1回(9月26日(金)開催、出席者17人)

「本庄市の公共施設の良い点・悪い点」を整理しました。  
また、「公共施設の今後のあり方(将来どうあるべきか)」を考えました。



第2回(本日)

「公共施設のあり方の検討」として、学校施設の複合化を検討テーマとして、複合施設に導入が期待される機能や複合化にあたっての課題について考えます。

# 1.前回ワークショップのおさらい

## (3) 前回(第1回)ワークショップのふりかえり

※詳細は別紙を参照

### ■公共施設の良い点(主な意見)

- 公共施設(公民館など)の利用しやすさ  
(予約がとりやすい、利用料金が安いなど)
- 地域活動が多く高齢者の方が生き生きと利用している。
- 防災施設、文化財施設、学校が比較的充実している。
- 立地バランスがよい  
(広域に分散して配置されている)

# 1. 前回ワークショップのおさらい

## (3) 前回(第1回)ワークショップのふりかえり

※詳細は別紙を参照

### ■ 公共施設の悪い点(主な意見)

- 施設の重複  
(合併に伴い同目的の施設が多い)
- 施設の老朽化(市営住宅、公民館など)
- 設備等が不十分  
(水まわり、トイレ、空調、バリアフリー対応、駐車場不足)
- 運営サービスが不十分  
(市の方向性のPR、予約方法がわかりにくい)
- 公民館などの稼働率が低い

# 1. 前回ワークショップのおさらい

## (3) 前回(第1回)ワークショップのふりかえり

※詳細は別紙を参照

### ■ 公共施設の今後のあり方(主な意見)

- 施設の統廃合(不要な施設の削減)
- 安全性確保や老朽化対応  
(補強等による既存施設の活用、避難所や防災機能の確保)
- 学校の有効活用  
(公民館等との複合化、空き教室の積極的活用)
- 市としての魅力向上  
(人口増への対応、市の文化のPR、本庄早稲田駅周辺の活用)
- 管理運営の効率化  
(指定管理者制度、予約システムのIT化・一元化、利用料金の適正化)

## 2. 検討内容について

### 第2回(本日)の検討テーマ

「学校施設の複合化」を検討テーマとして、複合施設に導入が期待される機能や複合化にあたっての課題について考えます。

#### ◆ 検討条件(対象施設など)

- ・今後考えられる個別事業の一例として、老朽化の進行している(仮称)本庄A小学校の建替えにあたり、近傍の(仮称)本庄B小学校・本庄C公民館・本庄D公民館を複合化することを想定する



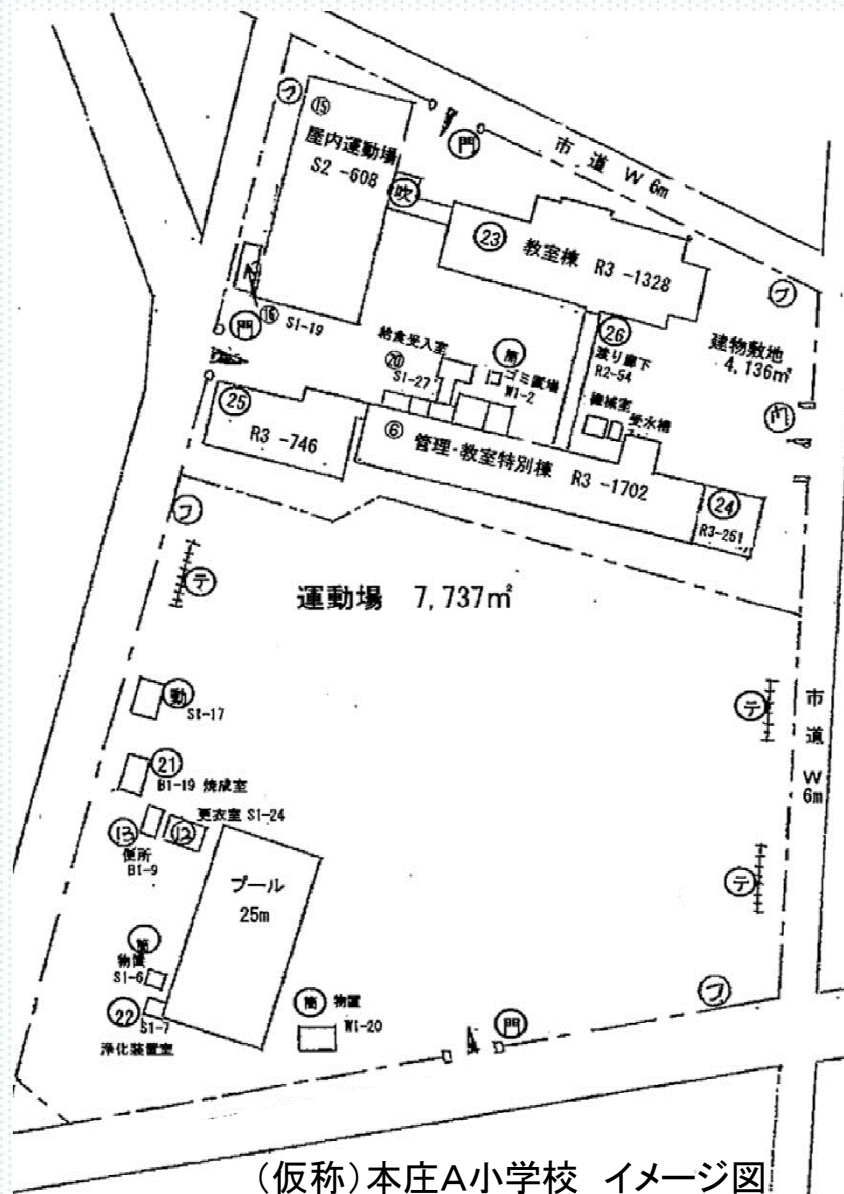
## 2.検討内容について

### ◆ 対象施設の概要

<対象敷地>

(仮称)本庄A小学校

(約12,000m<sup>2</sup>)



## 2. 検討内容について

### < (仮称) 本庄A小学校 >

延床面積／構造・階数	5,000㎡／鉄筋コンクリート造 3階
竣工年	昭和39年(築50年)
主な諸室	普通教室 特別教室(理科室、生活科室、音楽室、図工室、家庭科室、コンピューター室、図書室、特別活動室)
児童数	平成23年度:370人 平成24年度:360人 平成25年度:350人

### < (仮称) 本庄B小学校 >

延床面積／構造・階数	3,000㎡／鉄筋コンクリート造 ・ 3階
竣工年	昭和49年(築40年)
主な諸室	普通教室 特別教室(理科室、音楽室、図工室、家庭科室、コンピューター室、図書室、特別活動室)
児童数	平成23年度:80人 平成24年度:70人 平成25年度:60人

## 2. 検討内容について

### < (仮称) 本庄C公民館 >

延床面積／構造・階数	400㎡／鉄筋コンクリート造 3階	
竣工年	昭和39年(築50年)	
主な諸室	会議室、図書室、和室、調理室、展示室、実習室	
利用者数	平成23年度:3,300人 平成24年度:3,200人	平成25年度:3,000人
稼働率	平成23年度:13% 平成24年度:13%	平成25年度:12% ※貸室全体の平均値

### < (仮称) 本庄D公民館 >

延床面積／構造・階数	380㎡／鉄筋コンクリート造 ・ 1階	
竣工年	昭和49年(築40年)	
主な諸室	集会室、和室、調理室、小会議室、前庭、実習室、 研修室、談話室	
利用者数	平成23年度:6,500人 平成24年度:6,200人	平成25年度:6,000人
稼働率	平成23年度:12% 平成24年度:11%	平成25年度:10% ※貸室全体の平均値

## 2. 検討内容について

### ◆ 参考事例

#### < 志木小学校(志木市) >

施設機能	小学校 図書館 生涯学習館 (児童室、研修室、多目的室、和室、ホール、 工芸室、陶芸室等)
事業の 特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>• 既存の南校舎について、耐震補強や大規模改修し、仕切り壁を撤去しオープンスペースを設けることで、多様な教育内容に対応。</li><li>• 特別教室(音楽室・理科室・調理実習室・家庭科教室等)について、児童が利用しない時間帯(夜間・休日等)は一般市民に開放。</li><li>• 生涯学習館では、多世代を対象とした講座の開催や、学校・図書館と連携した事業を展開。</li></ul>



※出典: 学校施設の老朽化対策について報告書(文部科学省、H25.3)、新たな学校施設づくりのアイデア集(文部科学省、H22.1)、志木市HP

## 2. 検討内容について

### ◆ 参考事例

#### 〈はるひ野小中学校(川崎市)〉

施設機能	小学校・中学校 地域交流センター (多目的ホール、コミュニティサロン、調理室、ミーティングルーム等)
事業の特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>• PFI方式により整備・維持管理(一部運営)を実施。</li><li>• 開発(ニュータウン)による児童生徒数の急増に伴う、小中学校の合築事業。</li><li>• 地域の市民活動の拠点施設として、地域交流センターを併設。</li><li>• 児童の健全育成事業(わくわくプラザ事業)として、屋内体育施設やグラウンドを使用。</li><li>• 運営業務では、小学校の給食と併せて、中学校・地域交流センターのランチサービス(有料)を実施。</li></ul>



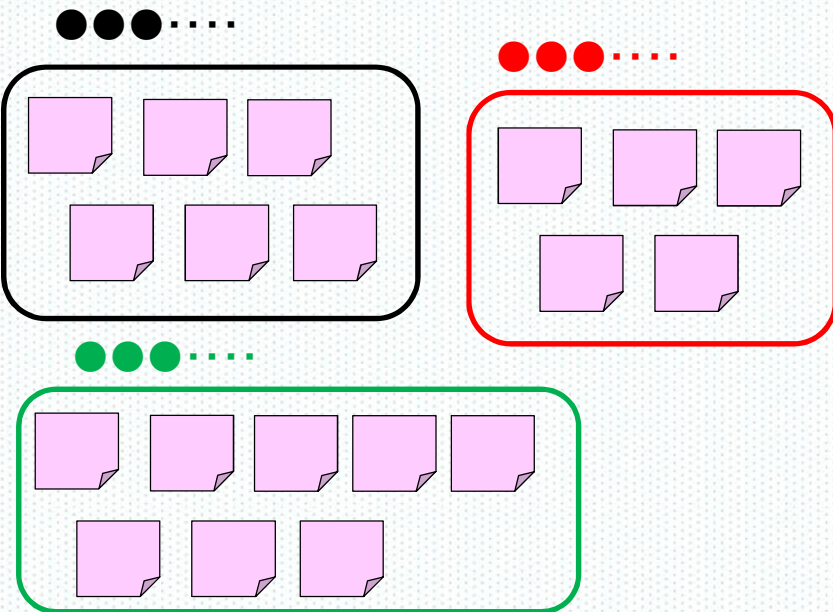
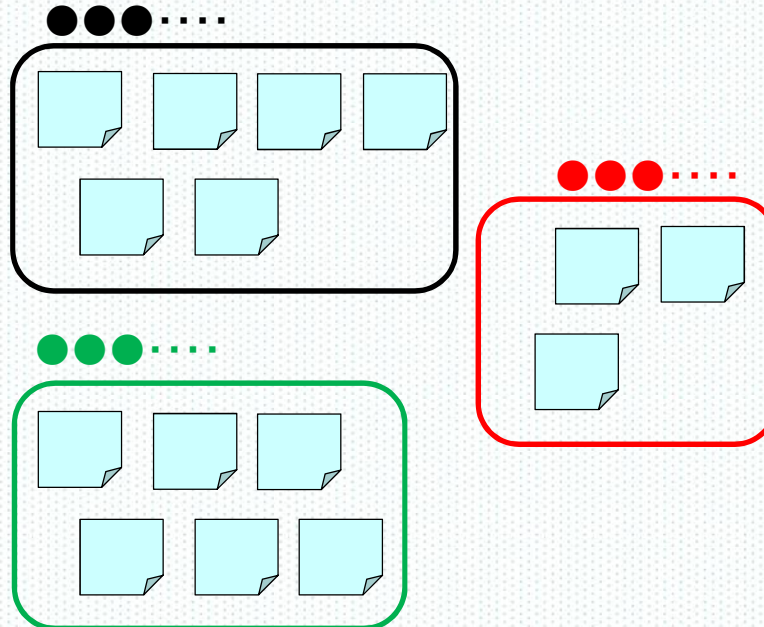
※出典：日本PFI協会HP、PFIインフォメーション、川崎市HP

## 2. 検討内容について

### ◆ 検討方法

- ① 検討条件を踏まえて、(仮称)本庄A小学校の建替えの際に複合化を行う場合に、「複合施設に導入が期待される機能(諸室)」(ピンクの付箋)、「複合化する場合の課題や留意点」(水色の付箋)について、各自が付箋紙に記入。
- ② 大判の紙に張り出しながら順に発表。
- ③ 張り出した意見を踏まえて、「学校施設の複合化のあり方」をみんなで考える。(黄色の付箋紙・模造紙に記録)

# ◆各班のまとめ方のイメージ

複合施設に導入が期待される機能	複合化にあたっての課題・留意点
	
学校施設の複合化のあり方	
